

古代伝説に彩られた 信仰の山 神出 雌岡山

雌岡山に咲くカタクリの花 2011. 4. 11.

雌岡山にカタクリの花が咲くと聞いて 待ちかねた春
神戸の街も桜満開になって 雌岡山のカタクリも もう咲いているだろうと
4月11日の午後 カタクリの花に出会いにゆきました。

春 桜が満開となった雌岡山 頂上の神出神社 参道 2011. 4. 11.

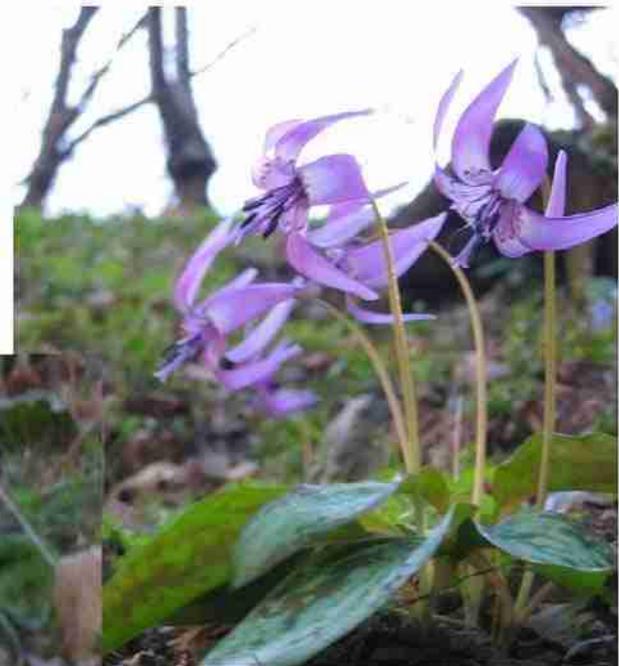
雌岡山

雄岡山



春の妖精
片栗の花

花言葉は
「寂しさに耐える」



冷たい風に立ち向かって
身を震わせる愛らしい姿



春 桜が満開となった雌岡山 頂上の神出神社 参道 2011. 4. 11.



雌岡山 頂上の神出神社 参道には もう ツツジが咲きはじめました 2011. 4. 11.



雌岡山頂上の下 北西斜面を整備して作られたカタクリの栽培地

2011. 4. 11.



雌岡山カタクリの栽培地

古代伝説の信仰の山「雌岡山」の山腹には かつて あちこちにカタクリが自生するカタクリの群生地。

春 山に花が咲くと 集落の娘たちは花を見にこの山に入り、山中にある神出の守り神 神出神社と良縁・安産の神 裸石・姫石の両神社に参詣したという。

絶滅が危惧されたこのカタクリの群生地を復活するため、神出の人たちによって 4・5年前から 山腹の斜面地を整備し、カタクリの移植・栽培がトライされてきた。

カタクリが花をつけるのには 8・9年かかり、この栽培地でカタクリの花が数多くみられるようになったのは ここ1・2年だという。

数多くのカタクリが他から移植されたためかどうか知らないが、他の群生地で見える「葉に紫斑のあるカタクリ」と「斑のないカタクリ」の2種が混在しているようだ。

まだ 若いカタクリが多いためか、葉が小さく、色も薄い感じがする。

神出集落の人たちの大変な苦勞で 守り 育てられてきた雌岡山のカタクリ。

このまま 順調に 春カタクリが咲き乱れる群生地復活が成功することを願う。



神戸市神出 雌岡山 カタクリの花栽培地 2011. 4. 11.

















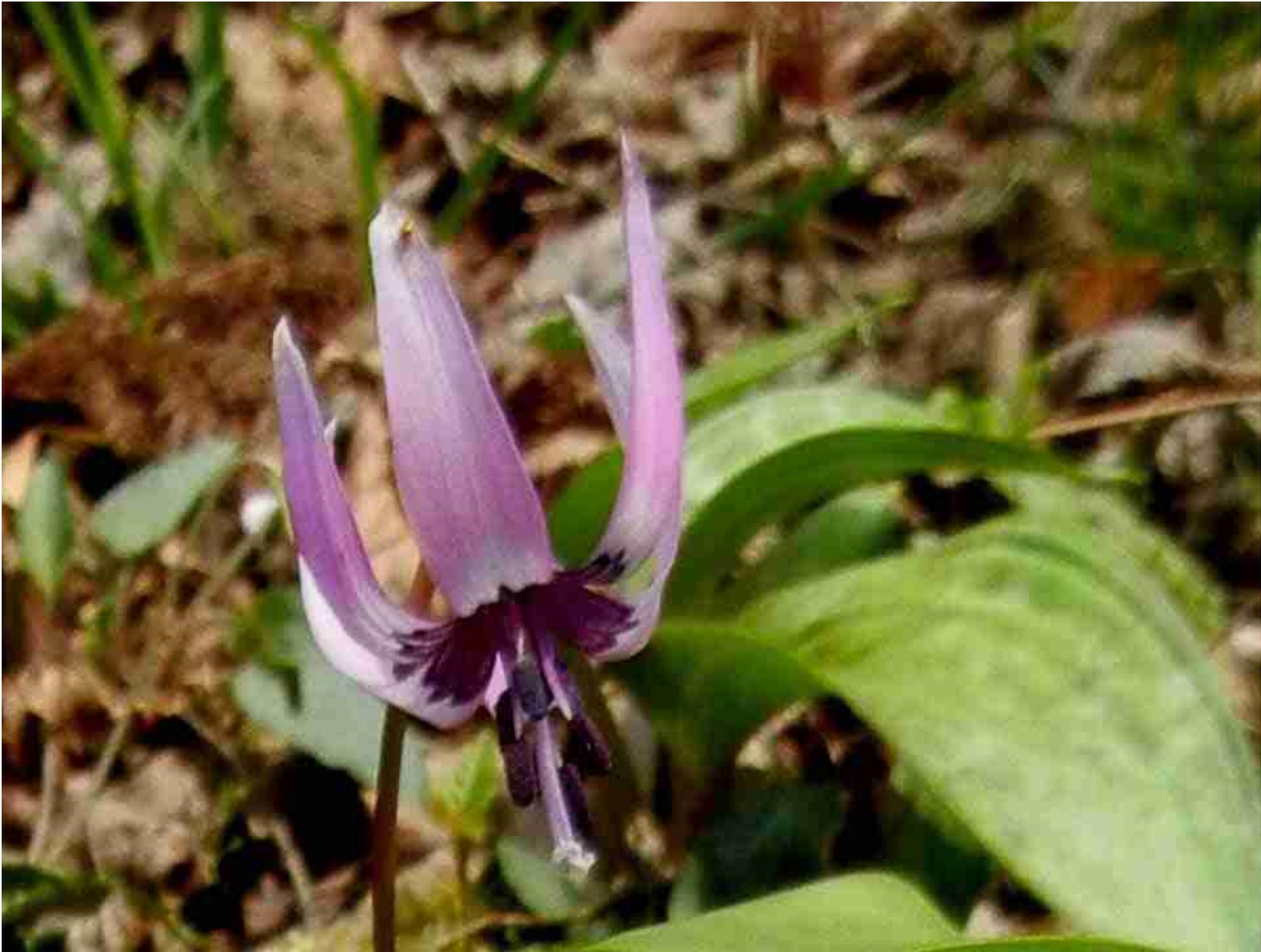
今年初めて 花をつけたかの?
小さな葉っぱが2枚 若いカタクリ

雌岡山のカタクリの花



まだ 若いカタクリが
スミレに囲まれて咲いている

まだ若い株が多い 2011. 4. 11.















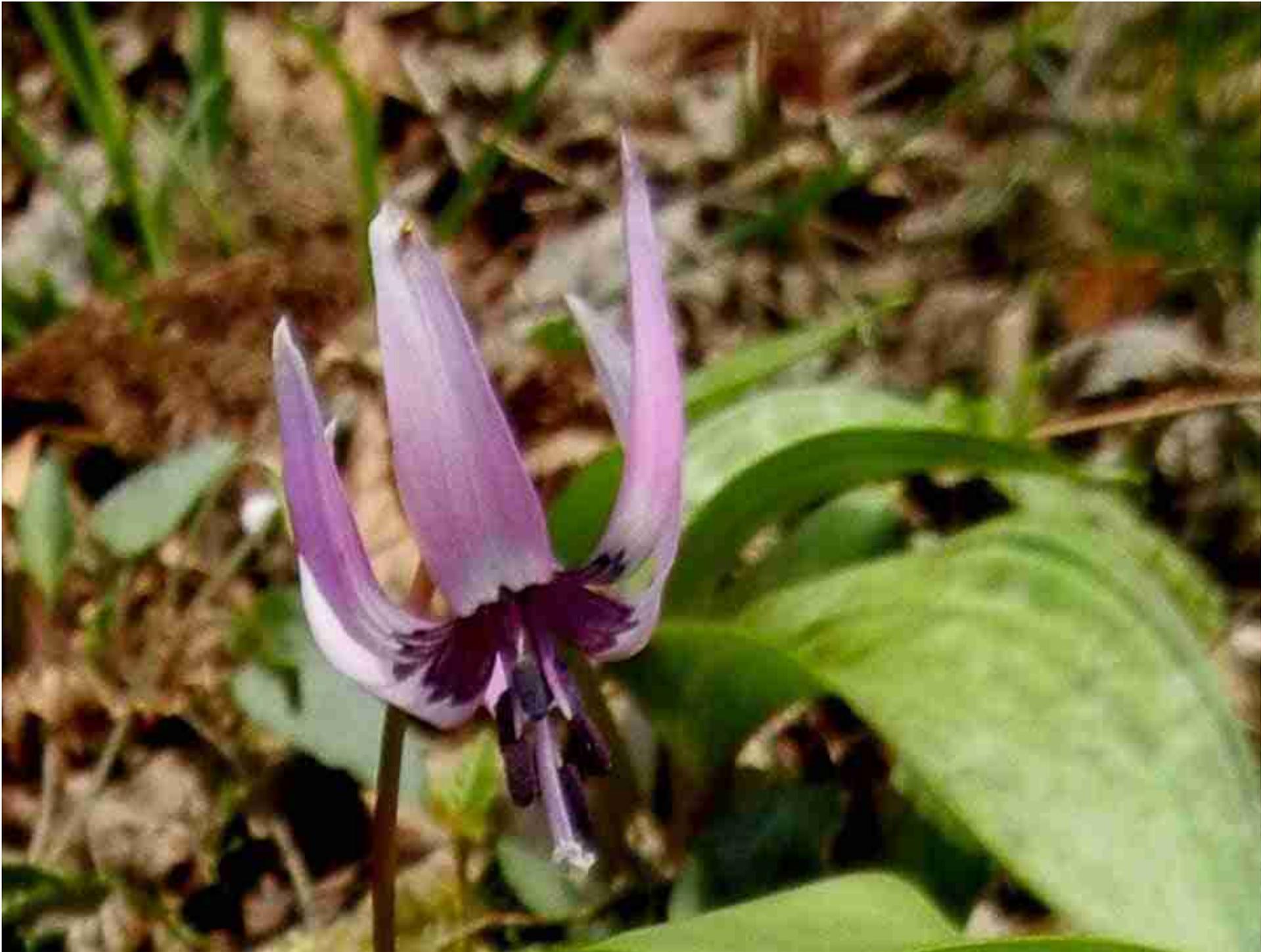
スミレに囲まれて咲く カタクリの花 雌岡山 カタクリ栽培地で 2011. 4. 11.





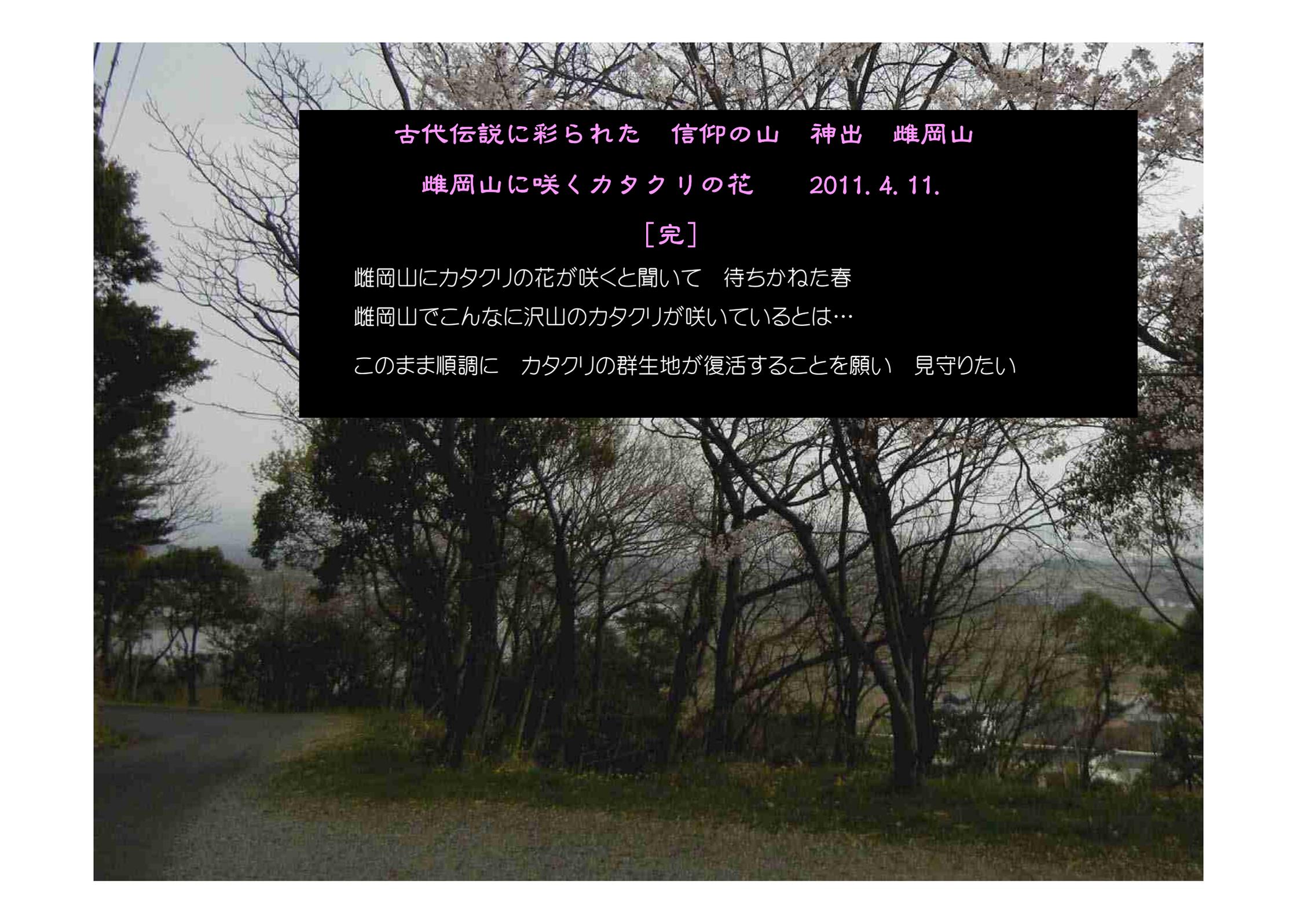












古代伝説に彩られた 信仰の山 神出 雌岡山

雌岡山に咲くカタクリの花 2011. 4. 11.

[完]

雌岡山にカタクリの花が咲くと聞いて 待ちかねた春
雌岡山でこんなに沢山のカタクリが咲いているとは…

このまま順調に カタクリの群生地が復活することを願い 見守りたい

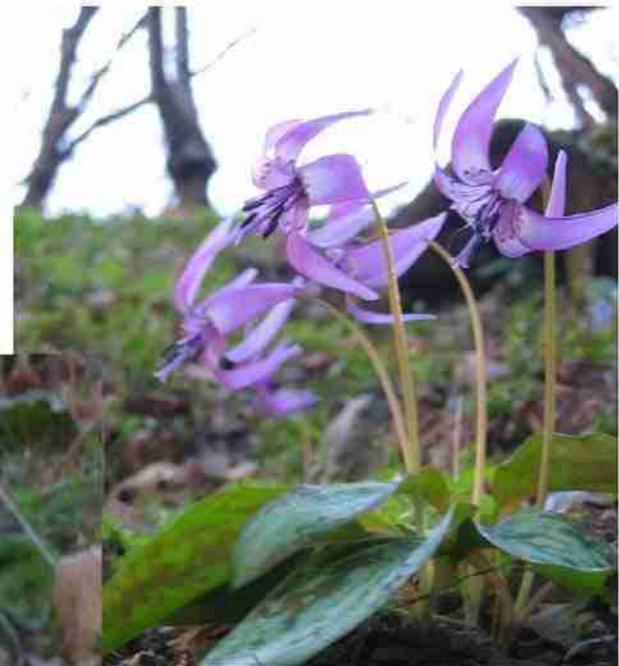
雌岡山

雄岡山



春の妖精
片栗の花

花言葉は
「寂しさに耐える」



冷たい風に立ち向かって
身を震わせる愛らしい姿